



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：3月9日定例会議

(3月9日国営通信)

9日、アブドゥラー国王は、リヤドにて定例閣議を主宰し、声明を発表している。決定事項を含めた概要以下のとおり。

1. サウジは、レバノン国内の安定、平和及び国家統一の更なる強化を実現するためにレバノンの同胞とともにあり、レバノンの一致団結、その強化に向けた議論、主権と自立のためのあらゆる努力を支援する。
2. 第131回アラブ連盟外相会合より発出された、政治、経済、アラブ諸国の治安事項に関わる決議案を賞賛する。
3. アラブ・南米諸国外相会合は、3月31日にカタールで開催される第2回アラブ・南米諸国首脳会談において発出予定の宣言について協議する。サウジは、パレスチナ問題及びエルサレムを首都とするパレスチナ独立国家樹立を始めとするアラブ問題について、南米諸国からのさらなる支持を期待する。
4. キング・アブドゥラー翻訳賞、キング・アブドゥラー・ナノテクノロジー国際学術会議第1回会合、2 聖地高速鉄道プロジェクト実施のための契約締結等の学術・文化経済活動を賞賛する。
5. 主な決定事項等
 - (1)2008年6月5日マドリッドで締結された、サウジ国防・航空省とスペイン航空省との間の防衛分野における協力覚書を承認。
 - (2)労働相及び教育相に対し、カザフスタンとの間の技術職業訓練開発、協力実施プログラム計画、文化・教育の協力に関する覚書について書名権限を付与する。
 - (3)財務相に対し、カザフスタンとの間の二重課税防止条約及び脱税防止に関する協定案及び関連規定への署名権限を付与。
 - (4)住居、商業施設、オフィス、サービス関連施設、工業関連施設の地図上における販売に関する規定を承認。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799